

SMC バッカン販売開始

設計から製作・塗装まで

スクラップ問屋のSMC(本社兵庫県三木市、齊本孝社長)は、このほど、バッカン(コンテナ)の販売を開始した。自社設計から製作・塗装まで一貫して手掛ける。1サイズで価格は9万円消費税込。送料別。スクラップ業に長年携わってきた経験を生かし、高品質で高耐久性に仕上げた。

バッカンのサイズはSS400(一般構造用圧延鋼材)で、板厚は側面が4.5mm、底面は6mm。水溶性のサビ止めペンキで仕上げる。コンテナの在庫重量300kg。材質が異なる場合は納期1週間、本社の引き渡しも可能。底面にはオークリフト用の差し込み口を設け、回転オークリフト用の差し込み口も対応。上段の投口を外周に、補強ハンゲルを設け、クレーンやユニックでの吊り上げ、移動も可能。また、移動の強度を高めるため、力が集中しやすいコーナー部分は、激しい補強を取り付け、激しい現場作業にも耐えられる作りとなっている。



販売するバッカン

現状では1サイズのみの販売だが、注文があればさまざまなサイズや形状のコンテナの製作にも対応し、塗装色も12色をオプションとする。問い合わせは本社(0794-831709)まで。

0791-1111まで。詳細はホームページ(http://smc.co.jp)でも紹介している。同社は、円筒形のフレコバッグ(フレキシブルコンテナ)の販売も好評で、10枚5300円(消費税・送料別)から販売している。当り5300円とリークプルな価格を設定する。仕様は容量1立方メートル、耐荷重1トン、サイズは高さ1080mm、直径1100mm。底面は補強が入り、4隅のスタ

アルミリサイクル設備の製造・メンテナンスを通じて循環型社会に貢献する

株式会社林商店グループ
名南炉機株式会社
〒455-0834 名古屋市港区神宮寺1丁目802
TEL.052-389-1501 FAX.052-389-1506
https://meinan-roki.co.jp

20年度廃プラ処理調査結果 電線被覆の不法投棄発生

環境省はこのほど、2020年度の廃プラ調査結果の処理に関する調査結果を発表した。自治体へのアンケート結果では、10以上の電線被覆の不法投棄が1件発生していたことが分かった。住民の通報で発見された。海外の廃プラ輸入規制に起因する可能性があるという。農業用ビニールや発泡スチロール、廃プラ混合物の保管基準違反も7件発生した。立入検査と住民の通報によるものも発生している。

自治体へのアンケート結果では、10以上の電線被覆の不法投棄が1件発生していたことが分かった。住民の通報で発見された。海外の廃プラ輸入規制に起因する可能性があるという。農業用ビニールや発泡スチロール、廃プラ混合物の保管基準違反も7件発生した。立入検査と住民の通報によるものも発生している。

管理型最終処分場 古小牧市に新設

環境エネルギーのサニックスグループは、このほど、子会社で廃棄物の最終処分やリサイクルを担うC&R(北海道古小牧市)に管理型最終処分場を新設すると発表した。同グループが運営するラッシュを燃料に発電するサニックスエナジー古小牧発電所から焼却灰を取り出し、容量は約40立方メートル、面積は約5万6600平方メートル。今年度中に完了する予定。最終処分場は既設施設の隣接地に建設。発電所の焼却灰を処理する。問い合わせは本社(0794-831709)まで。

特金スクラップ相場

	6月1週	6月2週
ニッケルシャブリ	1540	1540
〃新切れ	1540	1540
P C-2(Ni78%)	1245	1245
P B(Ni45%)	620	620
42アロイ(Ni42%)	575	575
36アンバー(Ni36%)	495	495
ニクロム(NCH-1)	910	910
ハイメタル(Ni30%)	495	495
インコネル(600)	955	955
モノル(405)	860	860
キュープロ・ニッケル(Ni30%)	595	595
コバルト	360	360
ステライト(Co50%)	270	270
モリブデン新切れ(一般品)	1935	1935
ハステロイ(A)	1310	1310
タンダステン新切れ(一般品)	2000	2000
ハイス(SKH-9)	220	220
〃(SKH-21)	150	150
〃(SKH-2)	220	220
純チタン新切れ(一般品)	180	180
チタン合金(6Al-4V)	85	85
純チタンくず	50	50
雑チタンくず	50	50

(都内問屋持ち込み価格、現金、N=ノミナル)

雑電線市中相場【6月第2週】

(キロ/円)	東京	大阪	名古屋
銅分45%	360 - 370 (365)	370 - 380 (375)	365 - 375 (370)
銅分43%	340 - 350 (345)	350 - 360 (355)	345 - 355 (350)
銅分40%	310 - 320 (315)	325 - 335 (330)	325 - 335 (330)

アルミスクラップ動向

6月第2週のアルミ原料は強含み様子。原料の海外流入も増え、市中流通量が減少している。関東のスクラップ問屋は値の在庫がほぼ枯しく、新たな購入に苦労している。複数のスクラップ問屋は「仕入れ価格の上昇分は、買い手が負担してほしい」と指摘する。強含み様子見。

金曜特集:リサイクル総合ニュース

内外非鉄日誌

2021年6月4~10日(掲載日ベース)

6月4日 G Sユアサは2020年代後半に全固体電池の実用化を目指す。Li B分野で得意とする宇宙などの特殊用途を見込む。

6月4日 設備用電力ケーブルの連続値上げが常態化している。副資材コスト転嫁に迫られている。

6月4日 NEDOはリチウムイオン電池(Li B)をしのぐ高性能な革新型蓄電池の研究開発事業を開始した。

6月7日 G Sユアサは今年国内自動車電池事業で新車販売比率上昇や鉛価格高で営業減益を予想。

6月7日 住友電気工業はTECを活用し、航空機分野などの非自動車産業に切削工具の提案を進めていく。

6月7日 J X金属は6月積み銅建値をトン4万円引き下げ113万円に改定した。また三井金属は亜鉛建値を37万9000円に9000円引き下げた。

6月7日 日本ガイシと名古屋工業大学は次世代製品開発ウエハーなどで連携し、共同で研究所設立する。

6月8日 プラスチック資源循環促進法が国会で原案通り成立した。素材全体を対象とする法律は初めて。

6月8日 日本精錬は中瀬製錬所に空気輸送装置を導入する。三酸化アンチモン粉じん防止対策を強化する。

6月8日 銅スクラップの需給が急速に引き締まっている。7-9月契約の交渉も一部始まったが、問屋側に数量削減の動きも見られる。

6月8日 三菱商事は湿式銅製錬の先進技術を持つ米スタートアップ企業に追加出資し戦略的業務提携契約を結んだ。

6月9日 古河電気工業は2025年度、エネルギー・インフラ事業の売り上げ規模を19年度比で1.5倍にする。再生エネ向けの海底線と地中線の売り上げを拡大。

6月9日 オリックスグループは太陽光発電所のO&M受託サービスを開始し、AIなどで収益最大化を図る。

6月9日 U A C Jは2023年度に板事業本部の経常利益を180億円以上にする。幅広い分野への供給力を武器にグローバル展開を図る。

6月9日 三井物産は電池バリューチェーンへの取り組みを地下資源(上流権益)、地上資源(リサイクル)の両方で強化すると述べた。

6月10日 U A C Jはタイ事業の方針を打ち出し、2030年度で世界最高水準の生産体制を整える。

6月10日 米政府はレアアースと半導体などの供給網の見直しを多様化する方針だ。

6月10日 英LMEは現地8日、リング取引(円形立会場での立会取引)を9月6日に再開すると発表した。実需家配慮も完全電子化に余地。

6月10日 J X金属は6月積み銅建値をトン1万円高の114万円に改定した。

非鉄金属鉱業情報

独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構

JOGMEC

非鉄金属鉱業情報

http://www.jogmec.go.jp

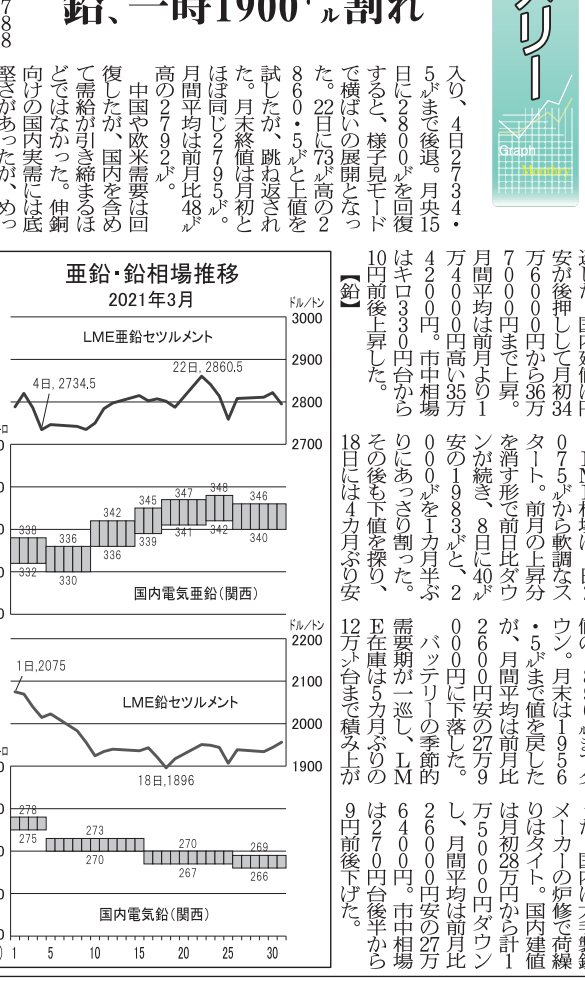
5月27日付のメティンコノコ、北エネ、コバルト、銅、鉛、亜鉛の輸出禁止について、輸出禁止の許可が認められ、輸出可能になることが明らかになった。銅、コバルト、鉛の輸出禁止は、5月27日付のメティンコノコ、北エネ、コバルト、銅、鉛、亜鉛の輸出禁止の許可が認められ、輸出可能になることが明らかになった。

亜鉛2800ドルを挟む 鉛、一時1900ドル割れ

2021年3月の亜鉛のロンドン金属取引所(LME)相場は、2800ドルを挟んで推移。鉛相場は自動車バッテリー需要期を終え、一時は1900ドルまで値を下げた。

【亜鉛】 前月に最大13%急騰したLME相場の現物セツルメント(前場売値)は、1日2788ドルから高値調整が

【鉛】 前月に最大13%急騰したLME相場の現物セツルメント(前場売値)は、1日2788ドルから高値調整が



グラフィタンスリー

LMF相場は1日2788ドルから高値調整が

国内建値は1日2788ドルから高値調整が